

大阪市教育振興基本計画 改訂案より

○ 検証・改善サイクルの充実

〈取組内容〉

教育委員会が、2つの最重要目標に対する取組と、取組目標の達成度に基づく各
学校園の学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講
じることにより、一定水準の教育の質を確保し、その向上を図ります。また、教育
委員会の施策について、その効果を検証し改善を図っていきます。

ポイント

- ・学校へ教育振興基本計画をいかに浸透させるか。
- ・どのような目標（指標）にするのか。力点（比率の設定等）をどこに置くか。

ポイント

- ・条例に基づく現行の学校評価とどう連動させるか。

【年度目標】

- ・教育委員会が全市共通の目標（指標）を設定
- ・学校が目標の達成に向けた取組を計画

〈2つの最重要目標〉

- ・安全、安心に関する目標（指標）
- ・学力、体力に関する目標（指標）

〈学校独自の目標〉

- ・学校独自の目標（指標）

学校の取組

目標（指標）の達成状況

評価

評価

区担当教育次長

ポイント

- 目標（指標）の達成状況及び取組の評価をどのように活用するのか。
- ・評価はどのように行うのか。その際に考慮すべき事項は何か。
 - ・評価を何に、どのように活用するのか。教育委員会の施策、学校のカルテ等。

○学校活性化条例に基づく
現行の学校評価

【運営に関する計画】

校長は教育振興基本計画を踏まえ、目標（指標）と取組を学校協議会の意見を聴き作成

【学校及び学校協議会
による学校評価】

〈自己評価〉

- ・学校長が評価
- 〈学校関係者評価〉
- ・学校長の自己評価を踏まえ、学校協議会が評価

校長は学校評価の結果を踏まえ、学校の取組の改善を講ずる

**「大阪市教育振興基本計画」における目標（成果指標）と
各校における全市共通目標（指標）（案）**

施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現

	「大阪市教育振興基本計画」における目標（成果指標）	現状値 （28(2016)年度末）	目標値 （32(2020)年度末）
1	不登校の割合 【大阪市問題行動調査】	小:0.5%(在籍比率) 中:4.6%(") (H27)	小:0.4%(在籍比率) 中:3.7%(")
2	いじめの解消率 【大阪市問題行動調査】	小:95% 中:95%	小:95% 中:95%
3	「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小:86.9% 中:92.7%	小:91.0% 中:94.0%
各校における全市共通目標（指標）			
(案)	・平成〇年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童生徒の割合を前年度より減少させる。		
	・平成〇年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。		
	・平成〇年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童(生徒)の割合を〇%以上にする。		
	・平成〇年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童生徒数を前年度より減少させる。		

施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組

	「大阪市教育振興基本計画」における目標（成果指標）	現状値 （28(2016)年度末）	目標値 （32(2020)年度末）
11	知識に関する問題の正答数が全国平均の7割に満たない児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小:国19.3% 算17.2% 中:国13.5% 数25.8%	小:国15.0% 算14.0% 中:国9.5% 数22.0%
12	活用に関する問題の正答数が全国平均を2割以上上回る児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小:国37.7% 算29.4% 中:国24.9% 数35.5%	小:国40.0% 算33.0% 中:国28.0% 数38.0%
13	普段、学校の授業以外で全く勉強しない児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小:7.0% 中:11.8%	小:4.0% 中:9.0%
14	理科の授業で、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答する児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】【小学校学力経年調査】【中学校チャレンジテスト】	小:64.7% 中:38.9% (H27)	小:70.0% 中:45.0%
15	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小:61.1% 中:52.7%	小:66.0% 中:58.0%
各校における全市共通目標（指標）			
(案)	・平成〇年度の小学校学力経年調査(中学校チャレンジテスト)における標準化得点を、前年度より向上させる。 (標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと)		
	・平成〇年度の小学校学力経年調査(中学校チャレンジテスト)における正答率〇割以下の児童(生徒)を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より〇ポイント減少させる。		
	・平成〇年度の小学校学力経年調査(中学校チャレンジテスト)における正答率〇割以上の児童(生徒)を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より〇ポイント増加させる。		
	・平成〇年度の小学校学力経年調査(校内調査)における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童(生徒)の割合を、前年度より増加させる。		

施策7 健康や体力を保持増進する力の育成

	「大阪市教育振興基本計画」における目標(成果指標)	現状値 (28(2016)年度末)	目標値 (32(2020)年度末)
17	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】	小:男52.6点 女54.3点 中:男41.2点 女49.2点	小:男53.0点 女56.0点 中:男42.0点 女51.0点
各校における全市共通目標(指標)			
(案)	・平成○年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である(例:50m走と立ち幅とび)の平均の記録を、前年度より○ポイント向上させる。		

[幼稚園]

○指標については、[各幼稚園におけるアンケート]や[保育アンケート]等で設定する。

[高等学校]

○指標については、各校の実情に応じて設定する。

【参考】各校における調査・テストの活用次期

	実施時期	結果の送付(活用次期)
全国学力・学習状況調査(小学校6年、中学校3年対象)	4月	10月末
大阪市小学校学力経年調査(小学校3年～6年対象)	1月11日～17日	2月28日
中学校チャレンジテスト(中学校1～3年対象)	1. 2年:1月、3年:6月	1. 2年:2月末、3年:8月
大阪市統一テスト(中学校3年対象)	10月	11月上旬
全国体力・運動能力、運動習慣等調査(小学校5年、中学校2年対象)	4～7月	1月下旬
児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(前年度分)	4～5月	12月